

# 平成28年度分 えいふく保育園 自己評価 公開シート

No. 1

項 目	評価・反省
保育の理念	<p>保育の理念は、明文化されており内容も適切である。しかし、保育理念や基本方針が、利用者等に十分に周知されているとは言いがたい。</p> <p>今後は、説明会や文書配布等にて、保護者等に解りやすく保育理念や基本方針を伝えていかなければならない。</p>
目標について	<p>全体目標、クラス目標は職員間で検討し、かつ共通理解がはかれている。</p> <p>また、各目標は、乳幼児の実態を踏まえた上で、保育課程に基づき設定され、各担任の思いや年齢ごとの達成してほしいことが十分に反映されている。</p> <p>しかし、利用者（保護者）等の願いまでは、組み込めて無い部分があると感じる。さらに利用者等への周知も、十分ではなかったため、今後は保育参観や面談等を通じて周知をはかっていく。</p>
保育について	<p>保育所保育指針に基づく援助・支援がなされ、環境の構成を意識して保育の工夫ができています。したがって、デイリープログラムは現行で大凡良いと思う。あとは、素材や用具の使用について偏ってしまっていたところもあるので、もっと視野を広げて様々なものを活用して保育にあたりたい。</p>
行事について	<p>行事の種類や実施回数は適切だと思う。また、行事のねらいを計画や実施に生かすことが出来ている。</p> <p>但し、年長児に限っては、行事に追われている感じが少なからずあるがこれもより計画的に取り組むことで充実した行事を行うことが出来た。</p>
運営組織	<p>各種会議については、自分の意見を言いづらい雰囲気になることがある。</p> <p>また、一部の保育士に負担が大きくなるような事例もあり、より係りや仕事の分担・割り当てを適切に行わなければならない。</p> <p>一方で、行事や制作物等に関してはある程度職員間の協力体制は整ってきている。</p>
健康安全	<p>園児の健康については、空気清浄機の導入やまめな消毒等、さらに定期的な検診や視診により確保できていると感じる。課題としては、感染力の強い病気が発生した際にはどうしても広がってしまうので、保護者の方に理解を求め、早期の受診や登園禁止を徹底していく必要がある。</p> <p>安全面もマニュアルに基づき確保できていると感じるが、少しでも危険な場所や危険な行動には十分注意し、後回しにせず、すぐその場で対応・対策を行って行かなければならない。</p>

項 目	評価・反省
職員の質の向上	園内研修及び外部の研修・講習は適切に実施されている。但し、現在は受動的な参加が目立つので、今後は職員自身の自主的な参加や園内研修の提案をしていくように努め、学ぼうという意識を高めていかなければならない。
個人情報保護・苦情解決	園児や保護者に関する個人情報は、適切に取り扱っており、個人情報保護に関する規程やマニュアルも整備している。 苦情解決の仕組みも確立され、保護者へのアンケートなども実施している。
施設設備	定期的な安全点検は行っており、危険箇所の把握及び修理等は適切に出来ているが、施設内のみならず散歩の道中や目的地の安全点検を今以上に行う必要がある。 不審者対策の研修を28年度は行わなかったもので、29年度は行うようにする。
開かれた保育園づくり	関係機関との連携の機会を確保し、課題や事例等の検討を行っている。 幼保交流会や福祉施設の訪問などを行い、他施設との交流を図っている。 今後は、地域の行事にもっと積極的に参加して、地域の文化や生活にふれる場をふやしていく。
情報発信	保育サービスの開始にあたり、保護者等に同意を得ている。パンフレット、ホームページを通じて、利用希望者が必要な情報を発信している。 週報や掲示板を使って利用者に向け必要な情報を提供している。
子どもの発達援助	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫などを行い、食事をたのしめるような環境設定が大凡出来ている。 子ども一人一人を受容した保育内容や保育士の援助が行われている。 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。 擁護と教育の一体的展開がされるような環境が整備され、保育内容や方法が配慮されている。 課題としては、定期的な指導計画の見直しが出来ていない部分が見られたので、全職員が指導計画の見直しを定期的に行うよう努める。
保護者支援	送迎の際の対話や連絡帳の記載などの日常的な情報交換に加えて保護者からの相談に応じたり、個別面談などを行っているが、連絡帳に関しては毎回記帳することは出来ていない。 今後は、保護者向けの研修会なども開催していきたい。